

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑱その他	目的	省エネ化・再エネ導入
事業名	還水(高温の凝縮水)の再利用による地下水の使用量削減と排熱回収による省エネ化		
事業概要	熱の再利用と地下水の資源確保、処理費用の削減のため、工場内地下ピットへの配管を整備し、廃水を洗濯水、ボイラ給水として再利用する。		
写真			
既存事業の内容	<p>病院・施設用の寝具、白衣、カーテンなどの各種リネンサプライ、看護補助などの院内業務請負、院外滅菌受託業務、独自の手術用リネンリユースシステムの提供を通じて、医療・福祉の総合サービス業として「安心」と「安全」をお届けする事業を展開している。</p> <p>また、ホテル・旅館等へ宿泊リネン、宴会リネンなどへの各種リネンサプライの提供、製薬会社や食品工場の清浄衣・無塵衣・無菌衣等の提供を通じて、地域の観光業や産業の発展を下支えする事業を展開している。</p>		
取組内容	<p>工場内設備で最も高温の工程を有する蒸気式滅菌装置は、真空脱気プリバキューム式を採用しており、真空ポンプによる強制空気排除を行ってから、缶内に蒸気を供給して滅菌工程を行っている。滅菌処理工程時に発生する蒸気ドレンや真空ポンプの冷却水は、廃水として隣接する自社の排水処理施設へ送っていたが、熱の再利用と地下水の資源確保、処理費用の削減を目的とし、工場内地下ピットへの配管を整備し、洗濯水、ボイラ給水への再利用を図った。</p>		
補助事業の効果・成果	<p>工場内で使用する全ての水が水源としての単純な再利用でなく、1次用途使用後の水温変化(熱)を効果的に再利用できる仕組みとなる。高温の凝縮水(還水)を活用することで、燃料費、給水費、排水処理費を削減できる。</p>		
参考となるポイント等	<p>既存設備を改修することで、廃棄していた高温の凝縮水を利用し、固定費の削減につなげている点は、他の事業所においても参考になると考える。</p>		